

株式会社アキュラホーム 2011年 年頭所感

株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区 社長：宮沢俊哉）では、2011年1月5日（火）に、年頭式を行いました。ここに、弊社社長宮沢の年頭所感を紹介いたします。

2011年1月5日 弊社社長年頭所感（要約）

あけましておめでとうございます。

今年は「卯年」ということで“跳ねる年”と言われていています。景気が低迷する中で、このような明るい表現は嬉しいものです。世界経済はまだまだ安心できない状況ですが、住宅業界については住宅エコポイントなどの緊急経済対策や様々な住宅施策が追い風となり、少しずつですが、明るい兆しが見えてきたのではないかと思います。

アキュラホームは、昨年から中期三ヵ年計画をスタートさせましたが、今期の業績については当初の目標である売上高316億円を上回る成果が出せるものと思われれます。特に更なるコストダウンに注力したことにより、その成果をお客様にも還元することができました。また、お客様との信頼の和を広げていく“家守り活動”（ ）も本格的な展開を始めることができました。

アキュラホーム中期三ヵ年計画の事業方針を「住宅建築業からの脱却、単なる建築業にとどまらない、住まい・暮らしのトータルサービスの提供をめざすための転換期とし、事業・サービスの拡充に取り組む」としています。「建築業」というと、ハードの面ばかり捉えられがちですが、決して住宅をつくりっぱなしにはいけません。中期三ヵ年計画スタートの昨年に、“家守り活動”を本格展開させたことはとても意味のあることです。

私は一年前の年頭の抱負に「七走一坐（しちそういちざ）」を掲げました。これは、動いたら必ずとまり体制を整えてからまた動き出すことこそが、安定した成長が図れるという意味だそうですが、私自身この一年を振り返ってみますと、座りきれていなかったと反省しています。今年は改めて「七走一坐」をしっかり行うことを抱負したいと思います。

今年は“跳ねる年”と言われながらも、アキュラホームは「住まいづくり」や「つくり手の原点を見直す年」だと思っています。今まで取り組んできたことをよく見直し、原点に立ち返り足元を固めてください。そして一人ひとりが「匠」としての技を究め、本物になっていただきたいと思います。「匠」とは、もちろん総務や経理などの管理部門も含め、全部門全従業員、さらには当社の家づくりに関る取引業者さんも「匠」です。謙虚にそして謹厳実直に取り組み、お客様に永代にわたって満足していただけるアキュラホームの体制作りを進めていきたいと思ひます。

今年も、皆様をはじめご家族の皆様にとって実りある、健康で幸せな一年となりますことを祈念し年頭の挨拶といたします。

< 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越

住所：東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL:03-6302-5010

ホームページ：<http://www.aqura.co.jp>

弊社社長宮沢の写真データは下記URLよりダウンロードすることができます。

URL：<http://www.aqura.co.jp/news.html>